

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	京都精華大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	京都
大学全体の総収容定員	4,392名	※令和5年5月1日時点	
学部学科組織構成	芸術学部（造形学科）、デザイン学部（イラスト学科、ビジュアルデザイン学科、プロダクトデザイン学科、建築学科）、マンガ学部（マンガ学科、アニメーション学科）、メディア表現学部（メディア表現学科）、国際文化学部（人文学科、グローバルスタディーズ学科）		
事業計画名	京都精華大学 情報学部（通信制）設置・建築学科収容定員増加計画		

2. 事業概要

<p>本学が令和10年度に開設を構想する新学部は、デジタル社会を担う人材を輩出するために、即戦力となる高度なデジタル運用技術、ビジネスの観点、アイデアを形にするデザイン力の育成を柱とする情報学部(通信制)である。カリキュラムにはデジタルビジネスの先鋒にある企業の提供科目や、工学教育の世界的権威との連携科目、実務家教員による科目も幅広く取り入れ、進化・発展の激しい業界に即応した教育を行なう。通信制の特性を活かした時間的・空間的制約の無いプログラムを開発・提供し、リスケリング希望層、通信制高等学校の卒業生、海外の受講生等も入学者として想定する。</p> <p>また、既設のデザイン学部建築学科では社会のGXに貢献できる人材育成を方針の一つに定め、重点整備する。令和10年度に建築学科の入学定員を76名（収容定員304名）へと、現在より20名増加させる計画である。グリーンテクノロジーの知識や、サステナビリティへの理解を有し、未来への視点を持って、まちづくりや都市開発に取り組む人材を育成する。</p>

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	情報学部					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	京都府京都市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	150名	※3年次編入50名含む				
他学部等の入学定員の減少数	0名					

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学科の収容定員の増加					
設置等組織名	デザイン学部建築学科					
設置等組織の学位分野	美術関係	工学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	京都府京都市					
入学定員	56名					
収容定員	224名					
入学定員の増加数	20名					
他学部等の入学定員の減少数	20名					

京都精華大学 情報学部（通信制）設置・建築学科収容定員増加計画

基本情報	改組予定年度：令和10年度	改設置等組織名：情報学部（通信制課程）※仮称（入学定員150人 ※3年次編入50名を含む）
	所在地：京都府京都市	デザイン学部建築学科（入学定員増加数20人／入学定員減数20人）
改組内容：学部の新設（情報学部）／既存学科の収容定員の増加（デザイン学部建築学科）		

新設 情報学部（通信制）※仮称

設置学部等の概要・コンセプト・特徴など
 企業や産業でDXを推進する即戦力となる能力（高度な技術、ビジネスの観点、社会課題の解決力、発信力）を備えた人材を育成する。通信制により時間的・空間的制約のないプログラムを提供し、リスキリング希望層、通信制高校卒業者などにも対応する

教育内容・育成する人材像
 プログラミングやクラウドコンピューティングの実習科目、実務家教員によるビジネスワークショップ、UI/UXデザイン科目などの豊富な科目構成。
 デジタル社会を担う人材に必要な高度な専門技術、ビジネスの観点、社会課題の解決力、アイデアを形づくり提示するデザイン・クリエイティブの力を育成する。

連携を通じた教育体制の整備
 インド工科大学ムンバイ校（IT教育の世界的権威）との連携協定に基づく同校の授業の導入や留学制度の開設、合同ワークショップなど

多様な入学者の確保
 通信制を活かしたリスキリング希望層、通信制高校卒業者、海外受講者などの獲得

定員増 デザイン学部建築学科

設置学部等の概要・コンセプト・特徴など
 芸術と工学がクロスする建築学科として、社会全体をデザインできる建築家の育成から進化発展し、今後のまちづくりや都市開発に不可欠な、建物のエネルギーマネジメントや、木造建築物の価値創造など、GXへの視点を広く養う

教育内容・育成する人材像
 社会課題を扱う国際ワークショップや最新のグリーンテクノロジーに触れる授業など。地球規模の視点を持ち、サステナブルな社会づくりに貢献できる人材を育成する。

連携を通じた教育体制の整備
 アメリカのオーバーン大学やドイツのアンハルト大学などとの連携や初年次からの英語授業、多彩な海外研修など

多様な入学者の確保
 課題解決型の体験授業による選抜や留学生などの獲得（2023年度留学生比率：約35%）

